



研修視察（西和賀町）

命と考えられ
てきた。昭和
32年に村長と
なる深澤晟雄
をはじめとす
る有志が集い、
「雪と貧乏と
病氣」の3悪
を追究する手
立てを日夜議
論し、徹底し
て村民の意見
を聞いてま
わった。

地域医療制度を学ぶ

10月18日から19日の日程で、岩手県西和賀町及び遠野市において議員研修を行いました。

西和賀町においては①合併前の旧沢内村の医療費無料化について②現在の老人医療費助成制度について、遠野市では①産科が市立病院からなくなつてからの医療体制について②助産院「ねっと・ゆりかご」の取り組みについて研修しました。

住民自身の学習活動、専門家の入った調査活動によつて悩みの根元を究明し解決策を提起していくプロセスを大切に、部門別、分野別の要求を束ねて村づくりの政策へと集約し、村民の福祉と健康を最優先とする国保10割給付を実現した。西和賀町となつた現在もその精神は脈々と息づき継承されている。

遠野市においては、当町でも町立病院から産科がなくなり町民からの要望も多くなか、その取り組みはすばらしい制度と感じてきました。ただ、地理的な条件の違いがあることも事実であり、医療機関の協力的体制や複数自治体の連携がなければこのようなシステムの構築は難しいものと思われた。山形県でも周産期医療の中核施設を拠点としてのモバイル対応のシステムの導入を検討すべきと強く感じてきました。

議会運営委員会研修



研修視察（妙高市）

議会活性化について学ぶ

「妙高市議会議員政治倫理条例」を制定しました。有権者の100分の1以上、または議員定数の6分の1以上の連署をもつて議長に調査請求がなされ、政治倫理調査特別委員会で調査を行い、結果を議会で議決するものです。

10月26日から27日の日程で新潟県妙高市および石川県津幡町の研修を行いました。

妙高市では、補助金の不正支出に議員が関与したこと発議による年7月に議員発議による止など細かな規定が設けられていたのも特徴でした。研修2日目は、議会活性化について石川県津幡町に学びました。議会の政策立案機能及び行政の監視機能の強化をはかると共に、町民に身近な議会として質の高い議会運営を確立するため、平成20年3月に議会制度検討委員会を設置しました。議員の政策立案及び行政監視機能を発揮していくため、議員をサポートする議会事務局に法制執務等の専門職員の配置などにも及んでいます。これらは、議会基本条例の制定を視野に行なわれており、自治法改正等を踏まえ周到な準備や研究がなされていることを実感しました。